



和歌山 × JICA

— 信頼で地域と世界をつなぐ —



JICA海外協力隊

民間連携事業

研修員^{※3}受入事業（短期）

派遣中隊員（14名）※1			
派遣国	派遣期間		職種
パナマ	2024.08.20	- 2026.03.20	障害児・者支援
グアテマラ	2024.05.14	- 2026.05.13	野菜栽培
ネパール	2024.08.06	- 2026.08.05	果樹栽培
ケニア	2024.08.20	- 2026.08.19	コミュニティ開発
パプアニューギニア	2024.11.25	- 2026.11.24	青少年活動
マダガスカル	2024.11.26	- 2026.11.25	小学校教育
エチオピア	2024.11.26	- 2026.11.25	テニス
マラウイ	2024.11.26	- 2026.11.25	作業療法士
コロンビア	2025.08.13	- 2027.03.20	青少年活動
エクアドル	2025.04.16	- 2027.04.15	環境教育
モンゴル	2025.04.22	- 2027.04.21	診療放射線技師
タイ	2025.05.20	- 2027.05.19	環境教育
タイ	2025.05.20	- 2027.05.19	工作機械
タジキスタン	2026.01.15	- 2028.01.14	青少年活動

築野食品工業株式会社（伊都郡）
米油及び脱脂糠の製造並びに用途開発にかかる案件化調査 実施期間（2016.12.28-2018.1.31） ベトナム
株式会社ヴァイオス（和歌山市）
小型メタン発酵システムによる有機性廃棄物の肥料化・発電 にかかる基礎調査 実施期間（2016.11.18-2017.7.31） タイ
株式会社ヴァイオス（和歌山市）
島嶼部における小型メタン発酵技術を活用した包括的有機資源循環システム導入の案件化調査 実施期間（2017.11.2-2018.8.31） パラオ
株式会社キナン（新宮市）
建設機械の整備・運転技能強化のための訓練教習所運営の普及・実証・ビジネス化事業 採択済 ミャンマー

観光
中央アジア地域広域観光開発政策 （和歌山大学国際観光学研究センター）

※3 2024年度実績。開発途上国からJICAの研修事業（数週間～最長3年（博士課程留学））への参加者を指す。短期は1年未満・参加者は概ね先方政府の行政官。他にもビジネスや学術界の中堅リーダーなどが参加。研修を通じて知見・技術を共有し、自国の発展のために活かすうえで核となる人材。

JICA留学生^{※4}

受入れ中のJICA留学生 なし

※4 受入期間が1年以上の研修員で、日本の大学院の修士／博士課程を通じ、母国の開発に寄与するための総合的かつ高度な技術や知識の習得を目指しています。



< 橋杭岩の前でくつろぐJICA留学生 >



< 熊野古道を歩くJICA留学生たち >

草の根技術協力事業

和歌山県 企画部文化国際課、商工観光労働部観光局（和歌山市）
インド マハラシュトラ州における「観光おもてなし」支援事業 実施期間（2015.03-2017.03）



派遣中を含む累積隊員数（368名）※2

※2 本籍地が和歌山県の隊員

JICA債

投資表明（6団体）
(株)喜多
(株)紀陽銀行
新宮信用金庫
日高川町
和歌山県信用保証協会
(公財)和歌山県病院協会

< 投資家の皆様へ >

